小金井市　ケアプランデータ連携システム導入活用促進事業
説明会　質疑応答

Q：小金井市でのケアプランデータ連携システムの導入率が 52%とあるが、高齢の 1 人ケアマネージャーの事業所等も含みますか。
A：はい、含まれます。まだ活用まで進んでいない事業所さまに対しては、操作方法のご説明や実際のデータ送受信に立ち会う「伴走支援（訪問支援）」を実施しております。

Q：阪急交通社さんは、何故この事業を請け負っているのか。このシステムに関して色々な企業から営業が来た場合にどのような会社が信用できるのかの判断になります。
A：弊社（株式会社阪急交通社）は、小金井市より正式に委託を受けて本事業の普及・導入支援を実施しております。事業者さま宛に本システムに関する営業・ご案内があった際は、「市の委託・支援を受けている」ことをお伝えいただけますと幸いです。

Q：送受信のインターフェース（操作方法）は、変更になりますか。
A：移行後の介護 WEB サービス上での詳細な画面構成や操作インターフェースにつきましては、国（厚生労働省）からの情報が開示され次第、随時共有させていただきます。

Q：使用中の介護ソフトが、ケアプランデータ連携システムに対応していません。その場合、システムの利用は難しいですか。
A：連携システム未対応の介護ソフトをご利用の場合、ソフトとの直接連携（CSV 連携）はできません。ただし、連携機能がオプション契約になっているケースもございますので、一度ご利用中の介護ソフトベンダーへご確認ください。

Q：ケアプランデータ連携システム未利用の事業所です。WEB 移行が完了し、ケアプランデータ連携システムの稼働が終了した後でも、PC にケアプランデータ連携システムをインストールする必要があるのでしょうか？
A：介護 WEB サービスへの移行完了後は、ブラウザ上の「介護 WEB サービス」のみでデータ連携が可能となるため、PC への専用クライアントソフトのインストールは不要になります。ただし、移行前（現在）から利用を開始する場合は、現行ソフトのインストールと介護 WEB サービスへの事前登録の両方が必要となります。

Q：引っ越すと、どの介護ソフトでも同じメリットがあるの？
A：はい。介護 WEB サービスへ移行（引っ越し）すると、介護 WEB サービスに対応しているどの介護ソフトをご利用でも、Web 上でケアプランデータ連携が利用可能になるほか、要介護認定情報や LIFE 情報（一部）などの閲覧・確認も一元的に行えるメリットがあります。

Q：伴走支援やオンラインサポートとは、1 事業所につき 1 度だけの利用となりますか？
A：いいえ、期間中であれば無料で何度でもご利用いただけます（令和 9 年 3 月末日までサポート対応いたします）。

Q：介護 WEB サービスへの引っ越しの事前準備について。
手順を追って、ワンタイム認証を行いました。登録されたメールアドレス宛にワンタイム認証コードが送信されていると思うのですが、確認できません。
登録メールアドレスの確認方法はありますか？
A：電子請求受付システムにログイン後、「ユーザー情報変更」タブより登録中のメールアドレスをご確認いただけます。
アドレスに間違いがなく、迷惑メールフォルダにも届いていない（再送しても届かない）場合は、介護情報基盤ヘルプデスク（0120-697-312）までお問い合わせください。

Q：資料の Q6 について。添付ファイルを送りたい時に、ファイル名が正確ならば CSV ファイルはブランク（ファイルの中身がない状態）でもよいのでしょうか。
A：いいえ、CSV ファイルの中身をブランクにすることはできません。本システムで送信できる CSV は、介護ソフトベンダーが規格に従って出力・動作確認を行ったデータに限られます。
PDF などの添付ファイルのみを送信したい場合は、システム画面上の「新規作成」機能より送信してください。

Q：いつまでサポートしてくれますか？
A：令和 9 年（2027 年）3 月 31 日までサポートいたします。

Q：サポートがオンラインであるという事は、画面や仕組みが相応に複雑と思いますが、どんな画面ですか。
A：実際の画面イメージを確認していただけるデモ画面（デモ環境）をご用意しております。操作に不安がある場合は、スタッフが現地に伺う「伴走支援（訪問支援）」もございますので、ぜひご活用ください。